

リーダーシップトレーニングの実践的側面と専門的側面

ブルース・アライ

ウィルフリッドローリエ大学教授



要 約

現代のリーダーを育成するトレーニングは、ビジネスエグゼクティブ・聖職者・軍人・コーチ・政治家の形を問わず、数限りない方法が試みられてきており、その成否はさまざまである。その理由の1つは、リーダーシップの理論が数多く存在し、それらに基づいてリーダーシップトレーニングプログラムが組まれるためである。そしてプログラムの基礎にある理論上の仮定が正しくなければ、プログラムがうまくいく可能性はほとんどないといえる。

この論文では、リーダーシップは特定の人々の中に存在するという昔ながらの概念を再検討し、現在のリーダーシップ理論がいかにこの見解を過去のものにしてしまったかを示している。かわりに、リーダーシップは状況と人間関係の産物であり、リーダーシップトレーニングプログラムはその状況に備え、人間関係が生まれる際にはその一部に加わることに焦点を絞る必要がある。特定のスキルに焦点を絞った多くのプログラムとは対照的に、リーダーシップの役割に備える訓練の最善の方法は、綿密な一般教養の基礎を通じて、十分な熟慮の機会を持ち、修辭的な能力を高め、指導を受ける機会を持つことである。ローリエ・プラントフォードではこれらの原則に基づいてプログラムを組み立て、かなりの成功を収めながらも、常に改善のための方法を探している。論文は我々がこのプロセスから学んだ教訓のいくつかで締めくくることが、それらが他のプログラムに役立てば幸いである。